

# サステナビリティ 報告書 2011

FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.  
SUSTANABILITY REPORT

FUJITSU



本社の社窓からレインボーブリッジを望む

shaping tomorrow with you  
社会とお客様の豊かな未来のために

富士通ビー・エス・シー  
FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.

shaping  
tomorrow  
with you

## shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

### 富士通グループとしてのお客様への約束

“お客様とともに豊かな未来を創造する”  
それが、私たち富士通の約束です。

“shaping tomorrow with you”には、  
お客様・社会の豊かな未来創造に貢献したいという想いと、  
お客様とともにビジネスを推進していく  
富士通グループの「お客様起点」の姿勢が込められています。

私たちは、お客様と長期的なパートナーシップを大切にし、  
お客様の経営ビジネスの成功に貢献していきます。

同時に、今までの経験から培われた現場力をもとに、  
新たな発想や提案を生み出し、お客様とともに  
ICTの力でより豊かな社会を実現していきます。

# Contents

ご挨拶

▶ 3ページへ

富士通グループの理念・指針

▶ 4ページへ

CSR基本方針と5つの重要課題

▶ 5ページへ

コーポレート・ガバナンス

▶ 6ページへ

リスクマネジメント

▶ 7ページへ

コンプライアンス

▶ 8ページへ

当社が取り組む重点テーマ

▶ 9ページへ

環境を大切に

▶ 10ページへ

人材を育てる

▶ 11ページへ

地域社会にとけこむ

▶ 12ページへ

かけがえのないパートナー

▶ 13ページへ

会社概要

▶ 14ページへ

当社のおもなあゆみ

▶ 15ページへ



## 富士通グループの理念・指針であるFUJITSU Wayの 実践を通じてCSR活動に取り組んでいます

本年3月に発生した東日本大震災において被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今般、サステナブル社会の実現に向けた当社の活動をまとめた「サステナビリティ報告書 2011」を発行いたしました。企業の社会的責任は、地球と社会の持続性に貢献しながら企業価値を向上させていくことにあります。

当社はこの考えを基に富士通グループとして掲げる“豊かで夢のある未来”の実現に向けて当社の事業分野であるICTを進化させ社会の発展につとめてまいります。



環境活動において、富士通グループは従来より自然や社会と調和する事業活動を常に目指してまいりました。当社もこうした理念に基づき、環境保全活動を継続しております。

このたび、これまで展開してまいりましたさまざまな取り組みをふりかえり、経営と一体化したCSR活動をさらに強化していくため、富士通グループとして「CSR基本方針」を掲げ、その中で特に優先的に取り組んでいく「5つの重要課題」を策定いたしました。

当社はこの「5つの重要課題」を「企業として果たすべき責任」と位置づけ、CSR活動を展開してまいります。

富士通ビー・エス・シーはお客様、地域社会、世界の人々新たな価値を共創し、社会の持続的な発展に貢献いたします。

Shaping tomorrow with you 社会とお客様の豊かな未来のために

2011年12月  
代表取締役社長

室町義昭

※「CSR基本方針」と「5つの重要課題」は5ページに記載しております。

本社の社窓から新橋方面を望む

# 富士通グループの理念・指針

## FUJITSU Way

FUJITSU Wayは、社会における富士通グループの存在意義、大切にすべき価値観、および日々の活動において社員一人ひとりがどのように行動すべきかの原理原則を示したものです。

### 企業理念

富士通グループは、常に変革に挑戦し続け  
快適で安心できるネットワークづくりに貢献し  
豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します

FUJITSU Wayは「企業理念」、「企業指針」、「行動指針」、「行動規範」の4つから成り立っています。

まず「企業理念」では、富士通グループの存在意義、社会において果たすべき役割を示し、次に「企業指針」では企業理念の実現に向けてグループとして大切にすべき価値観を表しています。

そして「行動指針」、「行動規範」では、それぞれ富士通グループ社員として積極的に実践すべきことと必ず厳守すべきことを掲げています。

さらに「事業方針」では、FUJITSU Wayに基づき定義された中期的な事業の方向性を示しており、全ての事業をこれに基づき展開しています。

全ての富士通グループ社員が、このFUJITSU Wayを等しく共有し、日々の活動において実践することで、グループとしてのベクトルを合わせ、さらなる企業価値の向上と国際社会・地域社会への貢献を目指していきます。

### 企業指針

#### 目指します

**社会・環境** 社会に貢献し地球環境を守ります  
**利益と成長** お客様、社員、株主の期待に応えます  
**株主・投資家** 企業価値を持続的に向上させます  
**グローバル** 常にグローバルな視点で考え判断します

#### 大切にします

**社員** 多様性を尊重し成長を支援します  
**お客様** かけがえのないパートナーになります  
**お取引先** 共存共栄の関係を築きます  
**技術** 新たな価値を創造し続けます  
**品質** お客様と社会の信頼を支えます

### 行動指針

**良き社会人** 常に社会・環境に目を向け、良き社会人として行動します  
**お客様起点** お客様起点で考え、誠意をもって行動します  
**三現主義** 現場・現物・現実を直視して行動します  
**チャレンジ** 高い目標を掲げ、達成に向けて粘り強く行動します  
**スピード** 目標に向かって、臨機応変かつ迅速に行動します  
**チームワーク** 組織を超えて目的を共有し、一人ひとりが責任をもって行動します

### 行動規範

- 人権を尊重します
- 知的財産を守り尊重します
- 法令を遵守します
- 機密を保持します
- 公正な商取引を行います
- 業務上の立場を私的に利用しません

### 事業方針

- フィールド・イノベーションにより、自らの革新とお客様への価値提供を追求します
- すべてに事業領域において、地球環境保護ソリューションを提供します
- グループ各社が相互に連携し、グローバルな事業展開を加速します

# CSR基本方針と5つの課題

## CSR基本方針

富士通グループのCSRは、FUJITSU Wayの実践です。全ての事業活動において、マルチステークホルダーの期待と要請を踏まえFUJITSU Wayを実践することにより、地球と社会の持続可能な発展に貢献します。CSRの実践にあたっては、下記5つの課題に重点的に取り組みます。これらの課題への対応を通じて、グローバルICT企業として責任ある経営を推進します。

## 5つの重要課題

富士通グループが取り組むべき5つの重要課題は大きく3つの項目に分類されます。

### 1. 企業活動を通じた社会的課題の解決

富士通グループは企業活動を通じて社会のさまざまな課題を解決し、地球と社会の持続可能な発展に貢献します。

#### 重要課題1. ICTによる機会と安心の提供

世界の70億人をICTがつなぎ・支える社会の実現に貢献し、人々に夢のある機会と安心を提供する。

#### 重要課題2. 地球環境保全への対応

ICTによりグローバルな環境課題の解決に貢献するとともに、自らの環境負荷を低減する。

### 2. CSR活動の基盤強化

地球と社会の持続可能な発展に貢献するため、社員がグローバルな視野をもち、生き生きと活躍できるCSRの基盤を強化します。

#### 重要課題3. 多様性の受容

企業と個人が共に成長できるよう、国籍、性別、年齢、障がいの有無、価値観に関わらず、多様な人材を受け入れ活かす。

#### 重要課題4. 地球と社会に貢献する人材の育成

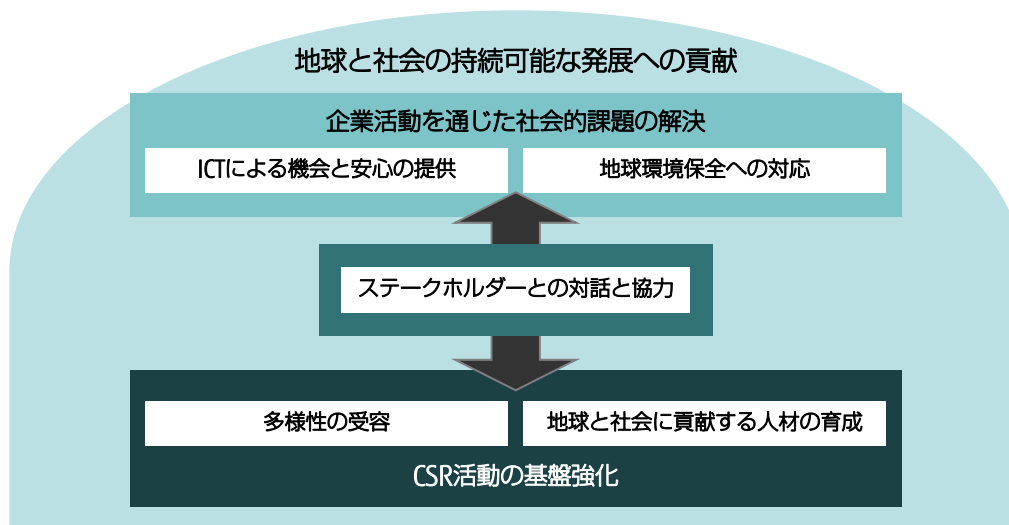
グローバルな視点にたち、他に先駆けて社会の発展に貢献する高い志を持った人材を育てる。

### 3. ステークホルダーとの対話と協力

上記2つの項目を多面的視点から推進するため、従来のビジネスの枠組みを越えた、幅広いステークホルダーとの関係構築に取り組みます。

#### 重要課題5. ステークホルダーとの対話と協力

良き企業市民として、ステークホルダーの多様な期待と要請を理解して企業活動を実施する。



## ■ 富士通グループのステークホルダー

富士通グループは、「お客様」「社員」「お取引先」「株主・投資家」「国際社会・地域社会」をステークホルダーとしています。



# リスクマネジメント

さまざまなリスクについて、未然防止および発生時における影響の最小化と再発防止の活動を推進し、グループ全体でのリスクマネジメントの実践と継続的改善を行っています。

## 事業活動に伴うリスク

事業活動に伴うリスクを抽出・分析・評価したうえで、リスクの発生防止や軽減、及び発生時の影響を出来る限り小さくするための対策に努めるとともに、万一発生した際には迅速に対応できる体制をとっています。



## ● リスクマネジメントの目的



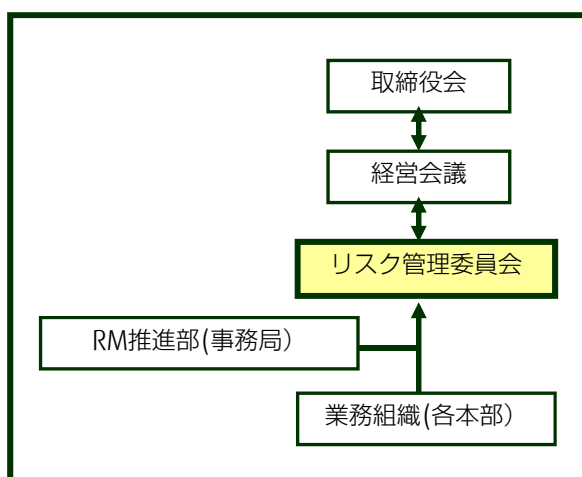
当社は本業であるコンピュータのソフトウェア開発及び販売、並びにこれらに付随する事業活動を通じて、お客様や地域社会をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様にご貢献することをめざしています。

この目的の達成に影響を及ぼすリスクを適切に把握し、対応することを経営における重要な課題と位置づけ、FUJITSU Wayに基づく当社のリスクマネジメント体制を構築し、その実践と継続的改善を行っています。

## ● リスクマネジメント体制

FUJITSU Wayに基づいたリスクマネジメントを行うため、当社はリスク管理委員会を経営会議直属に設置しています。

リスク管理規程、リスク管理ガイドラインを定め実践しており、それらを定期的に見直し、改善しています。



## ● 全社防災

2011年3月に発生した大規模地震を教訓として、全社の防災体制を再構築し、具体的な訓練を実施しました。

また、2011年度は社員一人ひとりの防災意識を高めるため、2011年度末までに4回に分け、防災eラーニングを計画・実施しています。

## ● 事業継続マネジメント (BCP)

近年、地震や大規模な水害などの自然災害や事件・事故、新型インフルエンザ等の感染症の流行など、経済・社会活動の継続を脅かす不測のリスクが増大しています。

富士通グループは、これらのリスク発生時にもお客様が必要とする高性能・高品質の製品やサービスを安定的に供給するために、事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)を策定するなど、事業継続マネジメントに取り組んでいます。

## ● リスクマネジメント教育の実施

リスクの未然防止、リスク発生後の軽減対策などについて社員に熟知してもらうため、eラーニングによるリスクマネジメント教育を定期的実施しています。

新入社員教育、中途採用者を対象にした教育も行い、リスクに対する意識向上を図っています。

また、このほかにも情報セキュリティ関連の教育や環境問題についても様々なコンテンツを公開しています。

# コンプライアンス

当社はFUJITSU Way「行動規範」に則り、コンプライアンスの徹底を図っています。

## コンプライアンス推進活動

コンプライアンス意識を社員に浸透させるため、FUJITSU Wayの行動規範「法令を遵守します」に則り、社内浸透活動を行っています。社員一人ひとりが質問に回答する方式でコンプライアンスについて考えを記述する教育など、さまざまな方法で推進活動を定期的実施し、常にコンプライアンスを意識するよう努めています。

### ● 人権相談窓口の設置 (人権を尊重します)

FUJITSU Wayの行動規範において「人権を尊重します」と定めています。これは「あらゆる企業活動のなかに、「人権尊重」の精神を根底に据えて活動する」という企業の姿勢を社員に明示したもので、この精神を実際の行動で示していくことを徹底しています。

当社は社員一人ひとりの人権を尊重し、いつでも相談できる体制をとっています。

### ● 内部通報制度の運用 (人権を尊重します)

当社は全社員から内部通報・相談を受け付ける制度として2008年12月から相談窓口（ヘルプライン）の運用を見直し、社員が利用しやすい体制に改善しています。

これは改正男女雇用機会均等法第11条1項、及び2項の職場におけるセクシュアルハラスメント等に対する厚生労働省告示の雇用管理上の措置の指針に基づく体制への変更に伴うものです。

また、リスク管理ルールの一環として、人権リスクを企業リスクとして捉え、第三者の窓口部門を経由することにより、先入観をもたずに公平な判断が可能であり、社員から通報をしやすくすることを目的としています。



### ● 個人情報保護体制の強化 (法令を遵守します)

当社はプライバシーマークを2008年10月に取得し、2年ごとに更新しています。

なお、プライバシーマークとは、日本工業規格JIS Q 15001「個人情報保護マネジメントシステム要求事項」に適合し、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者に対して付与されるものです。



### ● コンプライアンス教育の実施 (公正な商取引を行います 業務上の立場を私的に利用しません)

行動規範を職場や業務で実践するための手引き「行動規範の理解と実績」を適宜改訂し、独占禁止法や贈賄の問題となる事例の紹介も含め、イントラネット上に掲載しています。

また、FUJITSU Way浸透活動の一環として数回にわたりコンプライアンスについてeラーニングを実施しています。

### ● 知的財産の保護 (知的財産を守り尊重します)

FUJITSU Wayの行動規範において「知的財産を守り尊重します」と定めています。

加えて、行動規範ではグループ社員に対して「知的財産が、重要な経営資産であること、そのことがお客様にパートナーとして安心していただけること」を常に意識して行動するよう求めています。

富士通グループでは「知的財産の侵害は商品・サービスの欠陥に他ならない」と認識しています。

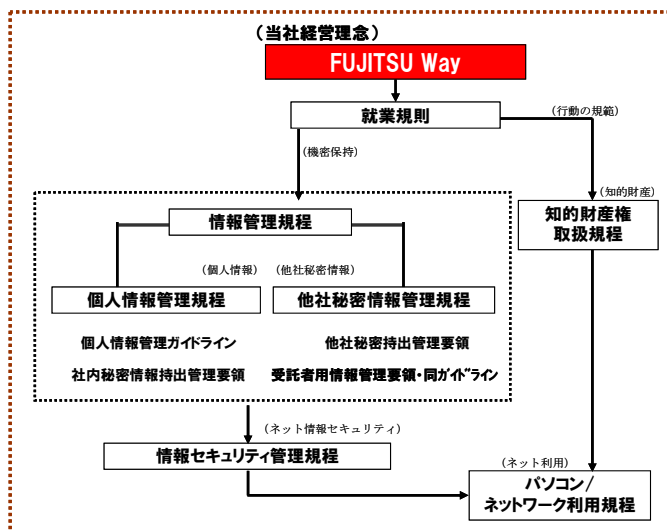
### ● 情報セキュリティ (機密を保持します)

#### 情報セキュリティに対する考え方

情報セキュリティに取り組むことにより、FUJITSU Wayに示す、お客様のかけがえのないパートナーとなり、お取引先と共存共栄の関係を築く企業方針を実現しています。

#### 情報セキュリティ委員会の設置

富士通グループ情報セキュリティ基本方針のもとに関連規定を整備し、情報セキュリティ対策を実施しています。



# 当社が取り組む重点テーマ

お客様とともに実績を築き、技術の更なる進化へ挑みます。

重要課題1 ICTによる機会と安心の提供

## 新サービス・新製品

情報セキュリティや高速データ処理システムなど、広く社会で求められているソリューションを製品化。多様な業種・環境に対応できるコストパフォーマンスの高い汎用パッケージ製品として提供しています。

新たな取り組みとして、災害時に有効なソーラーランタンの発売も開始しています。

### ● FENCE-Mobile RemoteManager

スマートフォンやタブレットなどの情報端末が急速に普及するなか、企業がビジネスで活用するケースが増えてきています。

その一方で企業にとっては、スマートフォン等の紛失や盗難による情報漏えい対策が急務となっています。

FENCE-Mobile RemoteManagerは、業務で利用するスマートフォンのセキュリティの設定をクラウドで一元管理するサービスです。

例えば社員が業務用のスマートフォンを紛失したときには、リモートコントロールにより端末の機能のロックやデータ通信の切断等を行い、企業の営業秘密や個人情報の流出をブロックすることができます。

(7月1日サービス開始)

### ● Solar Cubic (ソーラー・キュービック) A-1

Solar Cubic (ソーラー・キュービック) A-1は、当社の組み込み技術を活かしたキュービック型のソーラーランタンです。

本体上部にソーラーパネルを、本体にはリチウム・ポリマー充電電池と32個の高輝度白色LED(発光ダイオード)を搭載し、最長100時間以上の点灯が可能です。

用途に合わせて照明方向を6パターンで選択でき、明るさも4段階で調整できます。

また、FMラジオ、USB端子を備えており携帯電話等の充電もできます。なお、本体の充電は2方式(ソーラーパネル、ACアダプター)です。

「Solar Cubic (ソーラー・キュービック) A-1」は、一辺が15cmのキュービック型で安定感のある形状と落ち着いたデザインです。家庭やオフィスに1台備えおくだけで、非常時等にその威力を発揮します。

(8月25日発売開始)

## FENCE-Mobile RemoteManager概要



災害時に活用できるSolar Cubic A-1

# 環境を大切に(環境マネジメント)

ISO14001に基づく環境マネジメントシステムの継続的改善に努め、グループが一体となった環境マネジメントを推進しています。

重要課題2 地球環境保全への対応

## 環境マネジメント

富士通グループでは、国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループが一体となった環境改善活動を推進しています。



いつも地球を見守っている  
富士通グループ環境活動  
シンボルマーク



ISO14001認定シンボル

※当社は2005年に株式会社日本環境認証機構(JACO)よりISO14001に準拠した環境マネジメントシステムの認証を取得いたしました。

## ● 内部監査の実施

内部監査の独立性や客観性を確保するために、富士通本体の「経営監査本部」が主体となりグループ会社全体の環境監査を実施しています。

## ● 環境教育体系

環境に対する社員一人ひとりの意識を徹底・向上させるため、3年に1回の環境教育をeラーニングで実施しています。

全社員に基本的な環境の知識を身につけるとともに、自ら率先して環境活動に取り組めるように意識改革をおこなっています。



環境eラーニング学習画面

### ※生物多様性とは

人間を含む全ての生き物は、他の多くの生き物と大気・水・土などで構成される環の中で相互に関わりあって生きています。こうした生き物たちの豊かな個性とつながりのことを生物多様性と言います。

出典：環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室生物多様性ハンドブック「いのちはつながっている」より

## ● 2011年度の目的・目標

第4期行動計画

第5期行動計画

第6期行動計画  
(2010~2012)

富士通グループは、「環境方針」を実践していくための具体的な目標として環境行動計画を実施しています。

2011年度は第6期富士通グループ環境行動計画の3か年計画の2年目となります。

### 第6期環境行動計画

- 先端グリーンICTの研究開発の強化
- 製品・サービスの環境価値向上とグリーンICTの開発・提供強化
- 自らの環境負荷低減の強化
- 環境経営基盤の強化
- 環境社会貢献活動の推進
- ※生物多様性保全活動の推進

## ● エコ2コスト推進活動



富士通グループ全社で取り組む

全員参加型のムダ取り活動

「もったいない」精神を富士通グループの当たり前文化とすることを目標にした全社活動です。

一般的なコストダウン活動に加えて、CO<sub>2</sub>削減による環境貢献活動も合わせて行っています。



ムダトリ君  
エコ2コストキャンペーン  
キャラクター

「エコ2」とはエコノミー(節約)とエコロジー(CO<sub>2</sub>削減)という2つのエコをコスト費用削減につなげ、富士通グループ社員全員が「エコ2(通)」になり無駄をとる活動ということから名づけられました。

# 人材を育てる

当社は「人材育成」をもっとも重要な経営課題の一つと位置付けており、社員一人ひとりが能力を最大限に発揮し、いきいきと働ける制度の整備を推進しています。

重要課題3 多様性の受容

## 人材育成の目的

1. 主体性のある、自立した人材を育成します。
2. 最高水準の、技術やサービスを提供できる、プロフェッショナルを育成します。
3. 魅力的な組織のリーダーを育成し、活性化された組織作りを目指します。

### ● 若手育成のためのOJT制度

新入社員研修後、配属されてから約一年間、OJT (On-the-Job Training) 制度を実施します。

新入社員（トレーニー）1名につき、同じ部門・職場の先輩1名がOJT担当（トレーナー）となります。

トレーナー研修や上司・トレーナー向け講演会等を通して、トレーニーを受け入れる側の教育も積極的に行い、トレーニー・トレーナー双方の能力向上を図ります。



社内の教育風景

### ● キャリアデザインNAVI

社員ひとりひとりが自分自身の将来のありたい姿・夢の実現に向けて、どうやって実現していくかを考えていかなければなりません。

当社はそのための『支援』にいっそう力をいれていきます。これからどんな自分でありたいのか、今現在を知り、目標を立てる。それに向かって一歩ずつ進んでいけるよう社員一人ひとりを応援しています。

社内教育体系を下の図のように大きく6つに分類し人材育成に力を入れています。



### ● 働きやすい環境づくり

独立行政法人高齢・障がい者雇用支援機構では、事業所における障がい者及び職場定着を推進するため、雇用管理や職場環境の整備等様々な改善・工夫を行った「障がい者雇用職場改善好事例」を毎年募集しています。

優秀な事例を表彰し、この取り組みを広く周知しています。

当社はこの審査の結果平成22年度において優秀賞を受賞し、高い評価をいただきました。

受賞：平成22年度 障がい者雇用職場改善好事例 優秀賞  
内容：職場復帰にあたり、支援機構との連携により作業環境等を整備

### ● 多様性(ダイバーシティ)の尊重

FUJITSU Wayで掲げている「企業指針」の「社員：多様性を尊重し成長を支援します」に基づき、ダイバーシティ施策に取り組んでいます。

障がい者の雇用にも積極的に取り組んでおり、現在当社には20名以上の障がいをもつ社員が活躍しています。



「障害者ワークフェア2011 in さいたま」に出展しました。

### ● 仕事と育児の両立支援

仕事と子育ての両立を支援し、働きやすい環境をつくることによって、すべての従業員がその能力を十分に発揮するための各種制度を設けています。

当社は、次世代育成支援対策推進法の行動ガイドラインに基づき、従業員の仕事と子育ての両立を支援するための「一般事業主行動計画」を策定し、都道府県労働局に報告しています。



次世代認定マーク  
「くるみん」

# 地域社会にとけこむ

豊かで夢のある未来の実現に向けて多様な社会貢献活動を展開するとともに、政府や産業団体に対して課題解決に向けた提案や提言を行っています。

## 重要課題4 地域と社会に貢献する人材の育成

### 地域貢献活動

富士通グループでは、社員一人ひとりが地球環境の大切さを認識し、美しい地球環境を次世代へと受け継いでいくために、「地球貢献活動」「自然環境保全活動」「環境教育活動」を3つの柱とする環境社会貢献活動を通して、地域社会に貢献しています。

グローバルICT企業としての使命を認識し、環境負荷の低減を追求しながら、お客様社会とともに持続的な成長・発展をめざしていきます。



#### 活動事例

### ● 三島地区 海岸清掃活動 フェスタ・コスタ・デル・ゴミ IN 千本浜

三島開発センターでは、「千本浜海岸のごみを楽しみながら拾い、楽しみながら環境について考える」をテーマに、2001年から毎年、海岸清掃のイベントに参加しています。



社員の家族も参加し、楽しみながら清掃活動が行えました

#### 活動事例

### ● 台場地区 防犯パトロール・クリーンアップ・ タバコルールキャンペーン (路上清掃活動)

当社は、環境活動を実施中であり、第6期富士通グループ環境行動計画にも盛り込まれている「環境社会貢献活動」と「生物多様性保全活動」を事業所毎に実施しています。

環境社会貢献活動を通して、地域社会に貢献しています。



参加メンバー



ゴミ拾いの様子

#### 活動事例

### ● ペットボトルキャップ回収によるワクチン運動

飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、再生業者に売った資金をもとにワクチンを途上国に送る運動「キャップの貯金箱推進ネットワーク」に参加しています。

当社は一か月平均約7Kgのペットボトルキャップを回収しています。これは約3.5人分のポリオ(小児麻痺)ワクチンとなり、CO<sub>2</sub>に換算すると22.3Kgの削減に繋がっています。

微々たる努力から始まるこの活動ですが、当社はこの活動を継続していきます。



捨ててしまうものも有効活用すれば社会貢献につながります

# かけがえのないパートナー

お客様のパートナーとしてともに成長していくため、「お客様起点」で発想・行動しながら、積極的なコミュニケーションを図っています。また、お取引先と協力し、コンプライアンスの取り組みを強化していきます。

## 重要課題5 ステークホルダーとの対話と協力

### お客様とともに

#### ● 展示会出展と製品セミナーの開催

当社の製品・ソリューション、サービスを多くのお客様にご案内するための機会として、展示会出展や製品セミナーを行っています。

#### 展示会

Japan IT Week 春 内

### 第1回 スマートフォン&モバイル EXPO スマートフォンジャパン



2011年5月11日～5月13日開催

### Smart phone & Tablet 2011 fall nikkeiBP



2011年10月12日～10月14日開催

#### 製品セミナー

建設業向けERP  
CAP21 (キャップにじゅういち) クラウド



製品をご理解いただくために、随時製品紹介セミナーを行っています。

### お取引先 (パートナー様) とともに

#### ● 事業方針説明会の開催

当社の事業方針をご理解いただくために、毎年お取引先 (パートナー様) を対象に事業方針説明会・懇親会を開催しています。

お取引先 (パートナー様) と親睦を深め、情報共有やコミュニケーションを図る場ともなっています。



各部門による事業方針説明後、親睦会を開催

### 株主・投資家のために

#### ● 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

金融商品取引法などの法令および上場している証券取引所の定める規則に従い、公平性・継続性を重視した状況開示を行っています。

当該事業年度の事業報告(報告書・中間報告書)を公開ホームページに掲載し、株主・投資家の皆様に発送しております。

IR活動を通じて株主・投資家の皆様が当社へのご理解を深めていただけますよう、今後も情報開示とコミュニケーションを図ってまいります。



# 会社概要

社名	株式会社富士通ビー・エス・シー	資本金	19億7,000万円 (2011年3月31日現在)
英語表記	FUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.	連結売上高	308億7,000万円 (2011年3月期)
本社	〒135-8300 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場	決算期	3月31日
代表者	代表取締役社長 室町義昭	社員数	1,933名 (2011年3月31日現在) 男子：1,638名、女子：295名 平均年齢：39.8歳
設立	1963年11月20日	連結子会社	北京思元軟件有限公司 (Beijing Brain Cell Software Corporation Limited)

## 事業内容



豊富な経験に裏付けられた高度な技術力を基盤に課題解決に挑戦。高品質なシステム開発や、信頼性と利便性に富んだサービスを通して、お客様のビジネスをトータルに支援しています。

### 通信キャリアシステム

ますます高度化していく通信コンテンツの進化に対応し、適切な課金や顧客管理を実現するシステムを提供します。



通信・エネルギー・  
マルチメディアサービス

### 民需/公共システム

さまざまな業種の企業特性、ニーズに合わせたシステムを構築。  
官庁・自治体など公共機関のITインフラ構築実績も豊富です。



民需・公共

### エンベデッドシステム

幅広いデジタル機器に組み込まれるシステムの開発。  
豊富な実績で培った技術力でお客様の期待にお応えします。



携帯電話・スマートフォン、自動車関連、  
医療用機器、通信インフラ、評価検証、  
産業用機器、情報家電

### パッケージ&サービス

クラウド等の新たな技術と長年培ってきたノウハウの融合が今、時代に求められているパッケージやサービスを生み出します。



パッケージ・サービス

### ITサービス事業

人材サービスビジネスとして、システムエンジニアやプログラマーなど専門技術者の派遣や紹介事業を行っています。



人材

# 当社のおもなあゆみ

1963年11月	日産リース株式会社を設立
1969年10月	日産コンピュータ株式会社に社名を変更
1975年6月	富士通株式会社が資本参加
1976年7月	株式会社ビー・エス・シー(Basic Software Corporation)に社名を変更
1982年5月	仙台支所(現・仙台開発センター)を開設
1983年7月	東海支所(現・三島開発センター)を開設
1983年10月	ビジネスソフトセンター堂島(現・大阪開発センター)を開設
1986年3月	株式会社富士通ビー・エス・シー(Fujitsu Basic Software Corporation)に社名を変更
1986年9月	福岡出張所(現・福岡開発センター)を開設
1988年12月	通産省・システムインテグレーターの登録認定
1992年7月	北京思元軟件有限公司(BCL)を設立
1997年1月	ISO9001の認証を取得
1997年7月	大阪人材センターを開設
1998年1月	東京人材センターを開設
1999年6月	英文社名をFUJITSU BROAD SOLUTION & CONSULTING Inc.に変更
2000年10月	日本証券業協会店頭登録(現大阪証券取引所JASDAQ市場上場) 資本金1,970百万円に増資
2002年9月	品川区大崎に本社を移転。
2003年7月	田町テクニカルセンターを港区台場に移転し、「東京開発センター」に改称
2005年1月	ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を取得
2005年3月	ISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得
2005年4月	CMMレベル3を達成
2006年3月	北京思元軟件有限公司(BCL)の上海支店を開設
2007年2月	港区台場に本社を移転。東京開発センターは本社に統合
2008年1月	北京思元軟件有限公司(BCL)の大連支店を開設
2008年6月	ISO20000(情報サービスマネジメントシステム)の認証を取得
2008年10月	プライバシーマークを取得
2009年7月	ニコングループとの合併により、株式会社ニコンイメージングシステム設立
2010年4月	ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQ(現大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード))に上場
2010年8月	「次世代育成支援対策推進法」認定マーク(愛称:くるみん)を取得

本報告書の対象範囲は以下のとおりです。

- ・対象期間：2011年1月1日～2011年12月31日
- ・対象範囲：富士通ビー・エス・シーにおける以下の事業所  
本社、仙台開発センター、三島開発センター、大阪開発センター、福岡開発センター



## サステナビリティ報告書2011

株式会社富士通ビー・エス・シー

〒135-8300 東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場

URL： <http://www.bsc.fujitsu.com/>

発行：2011年12月1日

企画・編集責任者：梅澤克己

発行部署：総務部・企画広報部

お問い合わせ先：03-3570-4111

# サステナビリティ 報告書 2011



株式会社**富士通ビー・エス・シー**

<http://www.bsc.fujitsu.com/>